

★「個が光る調和のまち・一戸」の創造を目指して

Ichinohe 広報いちのへ 8

AUG
2012
No.601

水から始まる物語 特集

国営馬淵川沿岸農業水利事業が完了



いちの
への
地
地
産
笑
For Smile

The 10th anniversary
響き合う歌声。祝う10周年

コミュニケーションセンター開館10周年を記念して7月8日、「県民オーケストラと歌おうコンサート」が開催され、出演者と来場者を合わせ1,000人を超える人たちが節目を祝いました。(関連記事=24ページ)

いちのへの
地
地
産
笑
For Smile

Aug 2012.8 No.601

広報いちのへ Ichinohe

■編集・発行 一戸町・一戸町広報編集委員会
〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川林24-9 ☎ 0195-33-2111

■メール ichinohe@town.ichinohe.iwate.jp
■ホームページ http://www.townichinohe.iwate.jp



コンサートのフィナーレ。会場が心一つになり、「御所野縄文公園讃歌」を歌いました

会場には、町内の小学校の五年生と中学生、約六百人。それに観客など約四百人の総勢千人を超える人が詰め掛けました。

コンサートは四部構成で行われ、一部と二部ではそれぞれ小学生と中学生が、三部は、一戸混声合唱団「まべち」とカシオペア連邦合唱連盟有志がそれぞれ二曲を県民オーケストラの演奏で歌いました。

四部では、県民オーケストラがアニメや映画音楽を演奏し、観客の笑顔を楽しませました。

コンサートの締めくくりは、稲葉町長の指揮で、会場に集まつた全員で「御所野縄文公園讃歌」を合唱。世界遺産を目指す御所野遺跡を力強く後押ししました。

ターカー開館十周年を記念して「県民オーケストラと歌おうコンサート」が七月八日、町コミニティセンターで開催されました。

開館十周年

コミュニケーションセンターは、町民の交流促進と生涯学習の場として、約500人収容可能な多目的ホール、冷暖房完備の会議室などを備え、さまざまなイベントに対応できる施設です。

皆さん協力で大成功となりました。ありがとうございました

今回のコミュニケーションセンター10周年記念事業も、開館時と同じく、町の皆さんと共に歌うコンサートを開催したいと思っていました。多くの来場者、学校関係者の協力により大成功を収めることができました。ありがとうございました。これからも、町の皆さんにコミュニケーションセンターを気軽に使っていただけるように職員一丸となり頑張っていきます。



会場の外には、今までのイベントのポスターなどが展示され10年を振り返る企画展が行われました

全国的にも有名となつた高原レタスや、奥中山の牛乳。今の奥中山地区では、多彩な農業が行われています。しかし、現在のよつは農業へ至るまでには多くの苦悩もありました。開拓に立ちはだかつた保水力のない土、高地のため少ない水。やませや露霜など。その一つひとつを解決しながら、開拓農家の皆さんは良い農作物の生産に力を注いできました。▼農作物には欠かせない水。川からみ上げたり、水道水を利用し、生産をしてきましたが、大志田ダムが建設され、畑などに設置された給水栓などから作物へ散水することが可能となり、水の新たな使い方を農家の皆さんは模索し始めました。▼今を一生懸命生きること。取材を通して、奥中山は、多くの生き抜いてきた証が、次の世代へより良い環境を作ってきたように感じました。

お問い合わせ課 小寺 学

◎広報いちのへ8月号の印刷経費は1部32.6円(税込)です



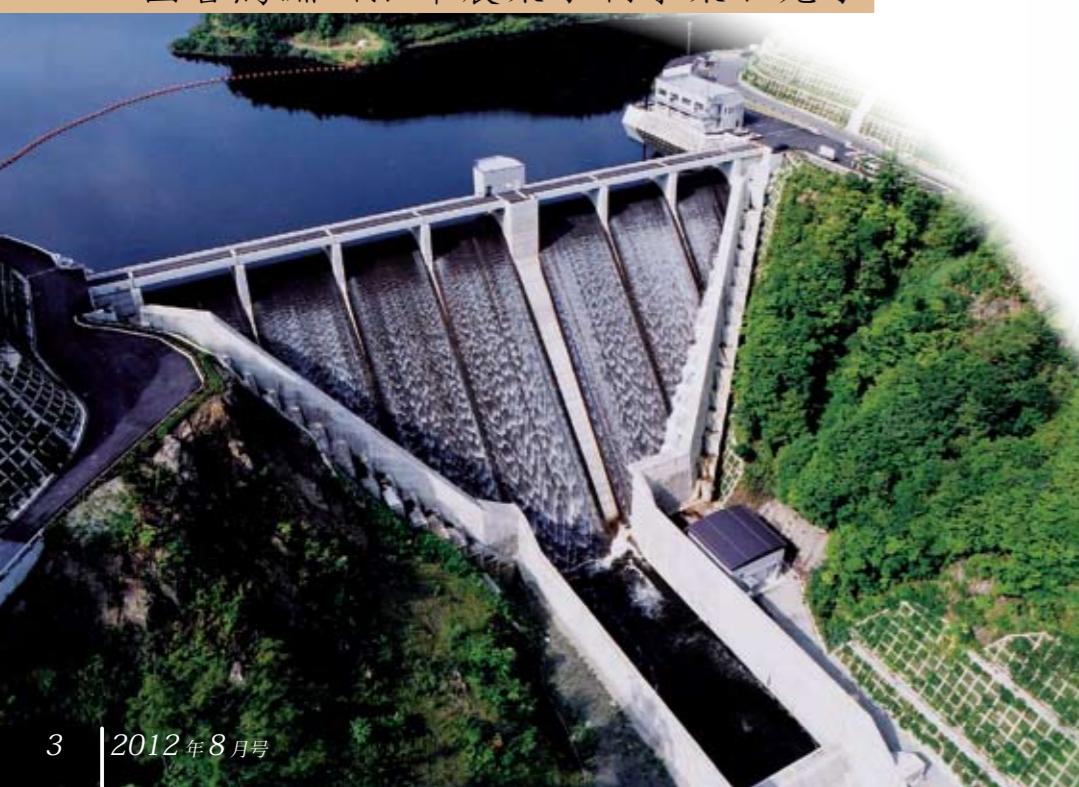
広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

編集後記

特集

水から始まる物語

国営馬淵川沿岸農業水利事業が完了



今年3月、国営馬淵川沿岸農業水利事業が完了しました。

この事業は、馬淵川流域の二戸市と一戸町とにまたがる大事業。事業面積はおよそ2,300haにも上り、その大半を一戸町の奥中山地区が占めています。奥中山地区は、高地のために降水量が乏しく、他の地域に比べて、かんがい施設などの整備が遅っていましたが、この事業で新規水源として大志田ダムやかんがい施設などが整備されました。

今回は、奥中山地区の農業の歴史を振り返りながら、この事業の果たす役割を考えていきます。



Contents_ 目次

2 - 9 水から始まる物語

国営馬淵川沿岸農業水利事業が完了

10 - 11

まちの話題とお知らせ

- 春の産業まつりを開催
- 横浜市元町で一戸産直昼市がスタート
- 一戸中学校野球部が準優勝
- 県民大会なぎなた競技などが行われる

12 - 13

まちの話題

- 老人ゲートボール大会を開催
- 福祉施設で自動車点検を行う
- 一戸南小学校で着衣水泳に挑戦
- 警察協力者感謝状贈呈式が行われる
- スターウォッチング★いちのへ2012を開催
- 「ぎんが食堂スイーツ列車」が出発進行

14 - 15

元気に活動中。一緒に活動しませんか?
美術部会

短歌・俳句 一戸町文化協会短歌・俳句部会

♪1歳になったよ♪



土屋幸作さん・本木末太郎さん・館下清一さん
シルバーハンモックセンター所属

16 - 17

たより

- 運動公園 / 総合保健福祉センター
- 図書館 / 御所野縄文公園

18 - 19

たより

- 二戸消防署 / 一戸病院
- 一戸交番 / 水環境課
- 町勢スケッチ ~美しい町並みの整備と保存~
害虫駆除についてのお知らせ

20 - 23

まちのお知らせひろば
広報クイズ

24

いのへの地産地笑
The 10th anniversary
響き合う歌声。祝う10周年

今月の表紙



(7月8日、コミュニティセンター)

土と戦い 開拓

水から始まる物語

特集 営馬淵川沿岸農業水利事業が完了



2

①昭和27年に、北海道から2種類の米の種を導入。奥中山地区でも開田が始まりました。しかし、水の温度や気象条件などにより水田の面積は次第に少なくなりました。

②昭和34年度から農協の開拓振興計画に基づいて、機械による開拓が始まりました。さまざまな事業を実施し、乳牛や装置などを導入。レタスやトウモロコシなどの高冷地野菜も作付けされました。

1

昭和二十年九月、第二次世界大戦が終戦し、復員兵士や海外引揚者が日本にあふれかえり、食糧危機などの社会不安を解消するため、国緊急開拓事業が行われました。奥中山地区でも終戦とともに、解散した旧軍馬補充部の約四千人から復員兵士、海外引揚者、町内の二男、三男などが奥中山地区に入植し開拓が始まり、開拓の統制を図るために奥中山開拓団（八重樫治郎蔵団長）が結成され、その後、さらに入植者を加えて五百六十八戸（純入植は三百二十六戸）と県下でも大規模な開拓団となりました。

農業の経験者はもちろんのこと、経験のない人までが奥中山の地に夢を馳せて、スキヤキや笛、雑木林に覆われた広大な原野にくわを振り下ろし、手作業で木を切り倒し、開拓を進めました。

昭和三十年代に入ると、国営北岩手開拓建設事業や、国営北岩手草地開発事業が実施され、畑作や畜産振興の基盤が形成されました。これをきっかけに、奥中山地区では酪農、ジャガイモ、キャベツなど、北海道型農業に転換してきました。

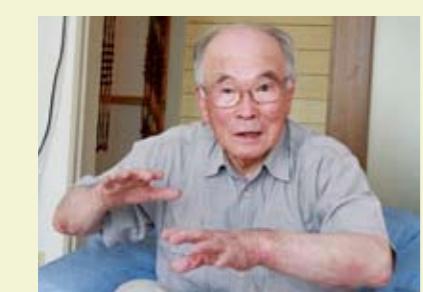
この農業の転換は、標高三百七十人から八百六十高地に位置し、冬期間が長く、農耕は五月から十月までの約半年間。さらに、霜や早霜、夏にはやませも発生するなど実際の農耕期間はさらに短くなってしまう奥中山の厳しい気象条件に合ってきました。

しかし、火山灰に覆われた土地で、保水力が乏しく、農協などにより土壤改良が行われ、徐々に改良してきましたが、降水量が少ないためしばしば干ばつになる年もありました。

そのため、平成九年から国による、国営馬淵川沿岸農業水利事業が始まることとなりました。

開拓団を結成

開拓の支援も干ばつ被害が



元奥中山農業協同組合長理事

■村山 敬一さん

風で土や種が舞い、日光を遮るくらいでした

昭和20年代ころは、春の野菜の種を植え終えたあたりに、強風が奥中山地区に吹き付けていました。当時の畑は、湿り気のない土でしたので、その風で、土や種が舞い、日光を遮るほどでした。そのため、農協の役員や農家の皆さんのが

役場や県、国などに働き掛けをしてかんがい事業が始まりました。現在は気候も変わり、農業用水の利用が当初計画と変わってきているように思います。農家の皆さんのが有効に活用されることを願っています。

人糞と水とヒエを混ぜて肥料にし、開拓者は、手作業で畑にまきました。畑の収穫量を少しでも多くしようと、多くの場所でこの光景が見られました。

Interview

恵みの水がめ

菜魚湖

奥中山地区は、町内でも高地に位置し、降水量が少ない年もたびたびありました。そのため、平成九年から国営馬淵川沿岸農業水利事業が始まります。

国営事業が始まる

平成九年から國による国営馬淵川沿岸農業水利事業が始まりました。

この事業は、一戸町と二戸市にまたがる約二千三百㌶の畠地や樹園地のかんがいを目的としています。水源として、馬淵川支流の平糠川に大志田ダムを設置するとともに、ポンプ場や用水路などの基幹的かんがい施設を整備しました。さらに県営畠地帯総合整備事業の導入により、末端かんがい施設の整備や農道など一連の農業基盤の整備を実施し、用水の安定供給を図ることで、農業生産性の向上と農業経営の安定化を実現させようとするものです。

Interview

皆さまからのご協力いただき感謝します



関東農政局中信平二期農業水利事業所長
(元東北農政局馬淵川沿岸農業水利事業所長)

■江上 博司さん

国営事業の推進にあたりご協力いただいた農家の皆さま、事業関係者の皆さま、とりわけ、大志田ダム建設にあたり、家屋移転などにご協力をいただいた多くの皆さまに感謝申し上げます。おかげさまで、平成23年度末で、国営事業を完了することができました。

事業完了後は、大志田ダムなどの、かんがい施設の管理は、一戸町、二戸市、そして平成20年度に設立されました馬淵川沿岸土地改良区で、管理することになります。一戸町の事業所は閉鎖致しましたが、東北農政局では、盛岡市にある北上土地改良調査管理事務所を窓口に、引き続き、色々な支援をさせていただきたく思っています。



■大志田ダム

大志田ダムは、平成9年度から工事が始まり、貯水量860万m³で、ダムの高さは63.7mのコンクリートダムです。

平成14年度に本体が完成した後、平成15年度に試験湛水を行い、ダムの安全性を確認し、平成16年度から本格的に稼働しています。ダムの愛称は、一般公募により、ダムの水が多く野菜や魚を育むよう、菜魚湖と命名されました。

環境に配慮したダム

大志田ダムでは、農業用の水を貯めるという目的以外に次のようなことが行われています。ダムの水質が悪化しないよう貯水をかくはんする装置を二基設置しています。ダムの水を循環させ、水質保全に取り組んでいます。

揚水機場と用水路

奥中山地区は、標高が高く起伏がある地形のため、用水の供給には、ポンプで、強制的に送水を行う必要があります。このため、大志田ダムの周辺に、二ヵ所の揚水機場を設置しています。揚水機場で取水した用水は、用水路やファームポンドなどを通り、畑やビニールハウスなどに送られています。



■ファームポンド

ファームポンドとは、1日のうちで水を使用しない間に水を貯めておき、水が必要な時に貯めておいた水を利用するため造られた調整槽です。



■用水路

ファームポンドで貯えられた水を、農地に計画的に水を供給するための施設です。地中に埋められたパイプラインが用水路で、このパイプを通して各農地に必要な分量の水を順番に供給しています。

トピック



■共同給水栓と個別給水栓

大志田ダムの水が、ファームポンドや用水路を通じて、畑やビニールハウスなどに設置された給水栓に供給されています。



■小水力発電

大志田ダムでは、ためた水を川へ放流する時の高低差を利用して小水力発電を導入しています。発電量は、一般家庭の990世帯分になります。

Topic

町の実りをもたらすダムの機能 さまざまなか工夫を凝らして支えます



■小水力発電

大志田ダムで貯えられた水を、農地に計画的に水を供給するための施設です。地中に埋められたパイプラインが用水路で、このパイプを通して各農地に必要な分量の水を順番に供給しています。

さらに、ダムにためた水を川へ放流する時の高低差を利用して小水力発電を行っています。発電量は、一般家庭の九百九十世帯分にも達し、ポンプの運転にかかる電力代などの維持管理費へ充て、農家の農業用水の使用料の軽減を図っています。

広がる輪



冬には凍った菜魚湖に色鮮やかなテントが張られ、多くの釣り人がワカサギ釣りを楽しめます



畠では個別栓から簡単に散水することが可能になりました

水を得農業

農業用水の確保ができたことにより、新たな農業の体制が整い始めました。



新たに実りを
みんなの手で



稼働を開始した農業用水

平成二十三年三月に国営馬淵川沿岸農業水利事業は予定していた工事が全て完了しました。大志田ダムやその水を共同で利用できる給水所などが整備され、農業へ水を十分に使うことのできる環境が整いました。

事業当初の目的であった干ばつの防止や品質の高い、

おいしい野菜作りなどができるようになり、さらには、ビニールハウスなどを使うことにより、一年を通して野菜の生産を行うことができることなど多様な生産体制の確立も可能となりました。今後は、それぞれの畑に個別給水栓などが整備されることにより、労働力が軽減されることが期待されます。

ダムに人々が集う

整備された大志田ダム周辺は、春夏秋冬を通じて人々が交流する場となりました。大志田ダムは、愛称を菜魚湖として地域の皆さんにも親しまれています。平成二十一 年には地域の有志が集まり、奥中山高原菜魚湖会を結成。昨年春には大志田ダムの上流にヒマワリなどの花の種を撒きました。また、春に一面の

菜の花畠が広がるよう願いを込め、秋には菜の花の種蒔きと、ヒマワリの実の収穫などを行いました。この花畠の中にトロッコを走らせようと岩泉町の鉱業廃線から提供を受け、設置の準備も進めています。

その他、大志田ダムは、奥中山高原ウォークのスタート地点となったり、冬には、ワカサギの試し釣りが開催されるなど、多くの人にぎわいます。

■菜魚湖軌道

いわて銀河鉄道の奥中山高原駅から東へ3kmの場所に菜魚湖軌道があります。洪水調整用地に岩泉町の日本粘土工業岩手鉱業所から鉱業用線路とトロッコの提供を受けました。地域住民たちが軌道用地の草を刈ったり、線路を作ったりし、今年中に花畠の脇に100mの線路を引くことを計画しています。

Interview

一緒に整備しませんか

平成23年に土地改良区と協定を結び、洪水調整用地の整備を始めました。16haもの広大な敷地なので、まだ整備は始まったばかり。多くのボランティアの人々に協力してもらい、集まった皆さんから出るいろいろなアイディアを形にしていきたいです。



奥中山高原菜魚湖会
■ 福田 勝 会長、川又 秀一 事務局長



助かっています

私はレタスやシイタケの育成などに大志田ダムの水を使っています。今まで川から水を汲んだり、水道水を利用し、大変苦労していました。整備され大変助かっています。



農業用水の利用者
■ 西館 重昭さん

春には、菜魚湖の畔の一面に菜の花が咲き

多くの人が集う場へと整備し続けています

百年に一度の洪水を想定し、洪水調整用地が設けられています。その土地が今、人々が交流する場となつてきました。



春に新たなまつりが加わり
一戸にぎわいが増える

春の産業まつりを開催

「春の産業まつり」が六月二十二日、二十四日の両日にコミュニティセンターで行われました。

今年は、例年行われている秋の産業まつりに加えて、春にも行われることとなり、今回は一日間で五千五十人が訪れました。

産業まつりには、町内外の四十八事業所が出店したほか、豚汁無料サービス、葛巻町の馬淵川源流太鼓や一戸高校の華一の公演、古着のリサイクルなど盛りだくさんのイベントが行われ、大きなにぎわいを見せました。

開会式では、開催を記念して餅つきが行われました



春の産業まつりには多くの来場者が詰め掛けました

快進撃を見せた一中野球部 東北大会への切符を手に

一戸中学校野球部が準優勝

準優勝した一戸中学校野球部の選手たち



出場し、一戸中学校が準優勝を收め、東北大会の出場を決めました。

奥中山中学校は、初戦で北上南中学校と対戦し、延長十回で惜しくも四対三で敗退しました。

一戸中学校は、決勝へと駒を進め、久慈中学校と対戦。○点のまま最後の七回、久慈中に連続ヒットで得点を許し、○対一で準優勝となりました。

準優勝した一戸中学校は、八月六日から福島県で開催される東北大会に出場します。

第五十九回岩手県中学校総合体育大会軟式野球競技、第六十六回岩手県中学校野球大会が七月二十一日から二十三日まで一戸野球場などで開催されました。

この大会に一戸地区を代表して一戸中学校と奥中山中学校が



準優勝旗を受け取る稻荷謹主将

なぎなた大会で 町の選手が大活躍！

県民大会なぎなた競技などが行われる



素早い身のこなしと正確な演技をする菅原選手と、西村選手（写真手前）

■第64回岩手県民体育大会なぎなた競技
・演技競技
1位 菅原和子（一戸高校勤務）
西村美香（一戸町役場勤務）
・試合競技（個人戦）
2位 西村美香
・試合競技（団体戦）
1位 一戸町A
市原和子（一戸中学校勤務）
西村美香
菅原和子
3位 一戸町B
和多田美枝子（一戸町役場勤務）
伊藤礼子（総合運動公園勤務）
来田香織（一戸町役場勤務）

■第29回県下少年なぎなた大会
○小学生の部
・演技競技（小学4年生以下の部）
3位 吉川心羽（一戸教室）
南館日奈太
・演技競技（小学5・6年生の部）
3位 山火萌乃佳（一戸教室）
塚野愛望
上村友梨佳（一戸教室）
根反亞日花
・試合競技（小学4年生以下の部）
3位 塚野愛望
南館日奈太
・試合競技（小学5・6年生の部）
2位 上村友梨佳
3位 武田夏海（奥中山教室）
○中学生の部
・演技競技
1位 熊谷里奈（奥中山中学校）
南館日奈太
・演技競技（小学5・6年生の部）
2位 野里美紗樹（一戸中学校）
上平芽生
3位 上村美結（一戸中学校）
東山楓
・試合競技（女子の部）
1位 武田智摘
2位 山火優生菜（一戸中学校）
3位 野里美紗樹
西館そら（奥中山中学校）
・試合競技（男子の部）
1位 宮野慎也（一戸中学校）



通りには「一戸産直昼市」の横断幕が掲げられました



昼過ぎには用意した野菜の大半が売り切れるほど大盛況でした

町の採れたて野菜
横浜でも大好評！

横浜市元町で一戸産直昼市がスタート

町内の産直施設や神奈川県横浜市元町に開設している町のアンテナショップ「ナルチャラル・エッセイ」、元町の商店街などで構成する元町レ・アール実行委員会が横浜市元町の厳島神社で七月二十一日、「一戸産直昼市」を開催しました。

復興支援の一環で行われた「一戸産直昼市」には、今回、サラダボウルこずやと奥中山産直からレタスやトマトなどの採れたて野菜が出售されました。

午前十一時の販売開始から多くの人が神社に集まきました。

から多くの人が神社に集まっている。午前十一時の販売開始から多くの人が神社に集まっています。

り昼夜市はスタート。用意した野菜の大半が昼過ぎには完売するほどの大盛況でした。

この「一戸産直昼市」は、九月まで毎月一回開催され、十月には元町商店街の飲食店で一戸産品を使った新メニューが発表されることとなっています。



地 域の安全活動に尽力 警察協力者感謝状贈呈式が行われる

平成 24 年度警察協力者感謝状贈呈式が 7 月 2 日、二戸警察署で行われ、町内から 1 団体、2 人が表彰されました。

受賞したのは、小鳥谷・姉帯地区民生委員協議会（春本房子支会長）と、岩佐光市さん、片野義弘さんです。

小鳥谷・姉帯地区民生委員協議会は、高齢者への地域安全、交通安全を呼び掛ける「ほほえみ交流会」の開催などが評価されました。岩佐さんは、二戸地区少年補導員として、地域における防犯パトロール、一戸まつりにおける少年補導活動など少年非行防止活動が評価されました。片野さんは、交通指導隊員として学校、保育所での交通安全活動への協力が評価されての受賞となりました。

二戸警察署長から感謝状を受け取る春本支会長



白 熱した戦い。4 チームが代表 老人ゲートボール大会を開催

平成 24 年度一戸町老人ゲートボール大会が 7 月 4 日、総合運動公園で開催されました。

大会には、町内各地区から 7 チーム、約 40 人が出場しました。この大会は、二戸地区大会への予選も兼ねていることから、各チームとも監督を中心に緻密な戦略が立てられ、白熱した試合の連続でした。

二戸地区大会への出場権を獲得したのは、次のチームです。

- 第 1 位 宇別チーム
- 第 2 位 奥中山平成会チーム
- 第 3 位 来田チーム
- 第 4 位 摺糠チーム

天候に恵まれ、練習した成果を存分に発揮する選手たち

星 を通じて広がる輪 スタートウォッキング★いちのへ 2012 を開催

「スタートウォッキング★いちのへ 2012」が 7 月 21 日、観光天文台（吉田偉峰台長）で開催されました。

星空観察までの間、岩手医科大学パフォーマンス同好会によるショーや、県内で活躍している 3 組のアーティストのコンサートなどのイベントが行われ、親子連れなどが楽しみました。

この日の夜空は、雲に覆われ、星空観察は残念ながら中止となり、プラネタリウムへ変更となりましたが、吉田台長の星の話を来館者は熱心に耳を傾けました。

姉帯慎太郎さん（二戸市）は「吉田さんの星の話は、分かりやすく、とっても楽しかったです」と笑顔を見せました。

※この事業は全国モーターボート競走実行者協議会からの拠出金を受けて実施したものです。



外は曇りだったので、吉田台長の説明によるプラネタリウムが行われました

日 福祉施設で自動車点検を行う 常点検の必要性を学ぶ

岩手県自動車整備振興会二戸支部の青年部（工藤良幸部会長）が 7 月 6 日、株式会社結愛サービス公社の職員に車の点検を指導しました。

岩手県自動車整備振興会二戸支部は、二戸市、軽米町、一戸町などの 98 の整備工場で構成されています。自動車の点検は、青年部会の地域貢献活動として行われ、青年部員はエンジンオイルのチェックや空気圧の点検の仕方などを職員に丁寧に指導していました。

工藤部会長は「エンジンオイルが無くなっていることに気付かず運転し、車を故障させてしまう人がいます。日常の点検を心掛けましょう」と注意を呼び掛けました。



エンジンオイルの量のチェック方法などを教わりました



「ぎんが食堂スイーツ列車」が出発進行 戸の魅力！「いただきます」

IGR いわて銀河鉄道の列車を利用した「ぎんが食堂スイーツ列車」（銀河鉄道観光主催）のモニターツアーが 7 月 10 日、盛岡駅から金田一温泉駅間で運行されました。

この「ぎんが食堂スイーツ列車」は、料理研究家・千葉星子さんをコーディネーターとして迎え、沿線各市町村の味覚をスイーツで表現。列車の中で振る舞われました。一戸町からは奥中山高原駅近くにある結カフェのピタサンドが乗客に振る舞われ、大好評。金田一温泉駅からバスで小鳥谷地区へ向い、サクランボ狩りも体験しました。

盛岡市からお祖母さんと一緒に参加していた小守林寛菜さん（3 歳）は「サクランボとってもおいしい」と笑顔でした。

真赤に実ったサクランボ。採れたては「おいしい」と大喜び



水 の事故から命を守るために 一戸南小学校で着衣水泳に挑戦

一戸南小学校（工藤茂夫校長、児童数 79 人）が 7 月 19 日、学校のプールで着衣水泳の体験をしました。

着衣水泳は、水の事故などに遭遇した際の対応や救助方法について理解を深るもので、3 年生から 6 年生の児童 56 人が参加しました。学校の運動着を着たままプールに入り、服に空気をためたり、ペットボトルを使って浮く方法を学んだほか、ペットボトルなどを使い救助する方法などを日本赤十字社二戸支部の高瀬一行さんから学びました。

中村美稀さん（4 年）は「浮き方や犬かきなどの泳ぎ方を勉強しました。命を守るために、学んだことを生かしたいです」と表情を引き締めました。

運動公園だより

Sports

初秋の運動公園を駆け抜けよう！

サンビレッヂXリレー 2012 参加チーム募集！

クロスカントリーラン（自然の野山を駆け回る）は、「筋力」「心肺機能」「俊敏性」「バランス感覚」などが効果的に養われることから、成長期の子どもから一流アスリート（マラソン・陸上選手など）のトレーニングにも積極的に取り入れるなど、近年大変注目されています。

■日時 9月17日(月) 9:00 ~

■受付 8:30 ~

■場所 総合運動公園

■参加資格 心身ともに健康で、スポーツ傷害保険などに加入している人
※未加入者には、一日傷害保険の加入をしていただきます。

■内容 運動公園内を会場に、起伏のある芝生、舗装、ウッドチップ、小道などさまざまな条件の約1.5kmの周回コースを4人でリレー（合計6km）し、速さを競う。（クラス [1] 小学生の部 [2] 中学生以上の部、どちらも男女の別を問わない）

■参加料 1チーム1,000円（幼児レースは無料）

■申込み 9月12日(水)まで

開催要項および申込書は、町総合運動公園、町民文化センター、町コミュニティセンター、各地区公民館に設置しています。

郵送を希望される人は、運動公園までご連絡ください。

■その他 上位入賞者を表彰します。参加者全員に参加賞（幼児レース含め）を差し上げます。



☎ 31-1400 休館日 8月13・20・27日 9月3・10日 開館時間 火～金 10:00～19:00、土・日 9:00～18:00

図書館だより

Books

『箱庭旅団』
朱川渢人著、PHP研究所刊

箱庭療法を受けた少年。みんなに愛されていった豆腐売りの少年がいた世界。亡くなつた孫を恋い慕う祖母が雨を待ちにしていた世界。少年は16の次元の世界に入り込み、旅をしていきます。

『東北発！女性起業家28のストーリー』
ブレインワークス/東北地域環境研究室共著、カナリア書房刊

著者が、東北の農山村における女性起業家について事例調査を行い、まとめた1冊です。岩手県からは、「久慈市・そばの匠館」をはじめ、4カ所の飲食店が紹介されています。

今日は読書びより～農業～

『青空市場で会いましょう』
永島敏行著、家の光協会刊、2012年

著者・俳優の永島敏行さんが、農業体験の取り組みやこれまでの半生などを紹介しています。

「日本の農業をもっと元気にしたい」そんな思いが詰まった一冊です。

2012 岩手の読書週間標語 あたたかい きもちになって またあした (平成23年度読書推進標語奨励賞作品)



ーブックトーカー

ブックトークとは、テーマに沿った本をさまざまな分野から紹介します。読書への興味を喚起し、幅を広げることを目的としています。これからも図書館では、読書推進活動のお手伝いをしていきます。

児童・生徒が自ら「この本読みたい！」と思い、実際に読むことで読書の充実感を体験することが大切です。



8月の図書館展示コーナー

- 今月の展示コーナーは「一戸町」
- 子どもの本の特集は「自由研究」

8月のイベント

- とことこおはなし会 8月17日(金) 10:45～
「さかな」
場所：地域子育て支援センターのびのび
対象：0歳～3歳児
- としょかん映画会 8月18日(土) 11:00～
「ころわんのおはなし」約23分
場所：町コミュニティセンター
対象：幼児から小学生

総合保健福祉センターだより

食中毒を予防しよう！「食中毒予防の3原則」

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。

食中毒を防ぐためには、細菌などを食べ物に「つけない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、「やっつける（殺菌する）」という3つのことが原則となります。

■つけない！

手にはさまざまな細菌が付着しています。食中毒の原因となる細菌が食べ物に付かないように、次のような時は、必ず手を洗いましょう。

*調理を始める前

*生の肉や魚、卵などを取り扱う前後

*調理の途中で、トイレに行ったり、鼻をかんだりした後

*おむつを交換したり、動物に触れたりした後

■増やさない！

細菌の多くは、高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。食べ物に付着した菌を増やさないためには、低温で保存することが重要です。肉や魚などの生鮮食品や惣菜などは購入後、できるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。

冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信せず、早めに食べることが大事です。

■やっつける！（殺菌する）

ほとんどの細菌やウイルスは、加熱によって死滅しますので、肉や魚はもちろん、野菜なども加熱して食べれば安全です。特に肉料理は中心までよく加熱することが大事です。目安は中心部の温度が75℃で、1分以上加熱することです。ふきんやまな板、包丁などの調理器具にも、細菌やウイルスが付着します。特に肉や魚、卵などを使った後の調理器具は、洗剤でよく洗ってから、熱湯をかけて殺菌しましょう。

■保健カレンダー

- BCG予防接種・びよびよサークル 8月20日(月) 13:00～ 総合保健福祉センター
- 1歳6カ月児健診 9月10日(月) 13:00～ 総合保健福祉センター
- 2歳6カ月児歯科健診 8月30日(木) 12:45～ 総合保健福祉センター
- すこやか教室 8月31日(金) 9:30～ お達者かーん
- 乳児・1歳児健診 9月4日(火) 13:00～ 総合保健福祉センター
- 鶏卵料理講習会ならびに消費者懇談会 9月6日(木) 10:15～ 総合保健福祉センター
- 3歳6カ月児健診 9月11日(火) 13:00～ 総合保健福祉センター
- こころの悩み事相談 必要により専門医が相談に応じますのでご相談ください。
- 助産師による妊婦・産婦・新生児の家庭訪問と栄養士による栄養相談・家庭訪問を行っています。詳しくは、総合保健福祉センターまでお問い合わせください。 ☎ 32-3700

History

御所野縄文公園だより

※御所野遺跡は「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として世界遺産登録を目指しています。

御所野で体験しませんか？

平成24年度企画展「縄文時代の墓」

御所野遺跡とともに世界遺産登録を目指している「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の墓の調査事例を通じて見えてきた縄文社会を紹介します。

■日時 9月15日(土)～10月14日(日)

■会場 御所野縄文博物館 2階第3展示室

■入場料 無料

■講演会 10月7日(日) 13:00～ 御所野縄文博物館会議室
講師：秋田県埋蔵文化センター主任文化財専門員 小林克氏「埋めない墓～環状列石の墓～」



ボランティアガイドについて

公園内には案内板がありませんので、御所野遺跡について詳しく知りたい人は、無料のボランティアガイドをご利用ください。10月31日までの土・日曜日、祝日に常時、博物館1階エントランスにて受け付けています。平日の案内については、3日前までにお問い合わせください。

ガイドは休館日を除き、年中受け付けています。お一人でもお気軽にご利用ください。

第4回 縄文里山づくり —縄文人になって自然を満喫しよう—

御所野の森を歩きながら現代につながる縄文人の食べ物や生活について思いをはせます。

クルミやドングリ、トチなど実のなる木や山菜、薬草について話しながら歩きます。

■日時 8月26日(日) 10:00～12:00 (雨天時中止)

■集合場所 御所野縄文博物館 1階 エントランス

■参加費 無料 (事前予約不要)

■講師 澤村義男氏 ほか

■服装 野外活動に適した服装でご参加ください。
(飲み物などはご持参ください)



「私もそこに行つてくる」と。そのツアーハイウェイの客たちは、退職後の時間をあまりお金をかけないで旅行して楽しむ仲良しであると、ほほえました。ウォッキングさせてもらつた。

旅行好きの彼らだけに、訪問先の土地に何を求めて歩いているのかが、この短い会話の中にはつきりと見てとれる。彼らは、その土地らしい町並みやその土地が生み出した好ましい特産品に心ひかれて、あちこち動き回つてゐるのである。

会話の中で、彼らの所在が分かつたが、東京近郊の住宅地であつた。

過日、M駅の新幹線待合室で男性ツアーカー客同士の会話を耳にした。ずいぶんと軽装で、荷物もコンパクトな物ばかりだつた。多分、訪問地を自由にあちこち動き回れるようになると、支度なのであろう。一方の客がこう言つた。「駅前の通りをずっと歩いてきたが、何も無かつた。他の町と何も変らない」と、ガツカリしたような言い方であつた。片方の客が、それを受けて情報提供をした。「いや、その先をずっととずっと行くと、城跡があつたよ」と。まもなくすると、別の客が加わつた。その客が報告した。「近くの特産品売り場に行つてきた。南部鉄瓶があつたよ」それを聞いて、また

一戸町長 稲葉暉

害虫の早期の発見・駆除にご協力をお願いします。

害虫駆除についてのお知らせ

例年、夏場には、アメリカシロヒトリ（毛虫）による樹木への被害やハチの巣に関するお問い合わせが多く寄せられます。

これら害虫による被害について個人また町内会などの対処をお願いします。

なお、個人またはや町内会などが行う害虫などの駆除に対して、下記の支援を行っています。

1. 噴霧器の貸し出し

手動式噴霧器と電池式噴霧機各2機の貸し出しをしています。

希望される人は、役場水環境課へ申し込みください。

2. ハチ防護服の貸し出し

ハチの巣の駆除作業に使用するハチ防護服の貸し出しをして

います。貸し出しさは役場水環境課、または奥中山支所でしています。
ハチの巣の駆除業者に関しては水環境課へお問い合わせください。

水素洗顔 45回。白髪をやめます。

④. 防虫剤の配布(ポンフラン殺虫剤)

個人で散布される場合は1袋200円の負担をお願いします（1袋5錠入りで、1錠100～200リットルの水に溶かして使います）。

町内会など地域単位で散布を行う場合には、無料で配布します。

配布する薬剤は、本来側溝や建物内のハエ・蚊の幼虫に効果を示すものです。樹木や作物などへの使用は控えてください。

※噴霧器などの貸し出しの際には、
　氏名、住所、貸し出し期間など
　を確認させていただきます。



書中駆除用具

一度大量に発生すると、数が多いために、薬剤をまいてもきりがない場合があります。また、枝づたいや建物づたいに近所の樹木にも移動し、トラブルの原因にもなる場合があり、早期の発見・駆除が必要です。ご協力をお願いします。

問水環境課 33-2111 內線 226

#数字で見る一戸町 Ichinohe

町の"今"を数字で見ます



まちの お知らせ ひろば

問合せ、申込み先

※数字はすべて6月分です

事故

人身事故	4件	(前月3件)
死者	0人	(前月0人)
負傷者	5人	(前月5人)

犯罪

刑法犯総数	5件	(前月6件)
うち侵入窃盗	0件	(前月0件)
うち乗物盗	0件	(前月0件)
うち非侵入窃盗	5件	(前月6件)

火災・救急

火災	0件	(前月0件)
救急	46件	(前月46件)

急患

県立一戸病院:時間内とは、平日8:30~17:15、時間外はそれ以外

時間内	10件	(前月17件)
時間外	219件	(前月292件)

ごみ

排出量	298t	(前月339t)
町民1人1日	547g	(635g)

人の動き

7月1日現在

人口	14,122人	(-14人)
男	6,786人	(-8人)

女	7,336人	(-6人)
世帯数	5,774世帯	(2世帯)

転入	18人	(141人)
転出	20人	(224人)

出生	6人	(38人)
死亡	18人	(127人)

※転入・転出・出生・死亡は1月からの累計

お知らせ / Infomation

平成24年度子宮頸がん予防ワクチン接種の実施について

町では、平成24年度子宮頸がん予防のワクチン接種を実施します。

対象者

町内に住所を有する中学2年生の女子(平成10年4月2日~平成11年4月1日)で予防接種を希望する人

期限 平成25年3月31日まで
※初回は8月末まで

場所

- ・県立一戸病院 小児科外来
- ・松井内科医院
- ・いちのへ内科クリニック
- ・奥中山高原クリニック

料金 無料

接種について

接種は3回分の実施のため、初回については、早期の接種(8月末まで)をお願いします。2回目以降の予定は、初回接種をした医療機関にご相談願います。

その他

この予防接種は、予防接種法に基づくものではなく、任意の予防接種になります。健康被害などが発生した場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済の対象になります。

問健康福祉課 ☎ 32-3700 内線619

高齢者冬期居住施設の入居者を募集します

町では、冬期間に下記施設への入所を希望する人を募集します。

詳細は、下記へお問い合わせください。

対象者

60歳以上のひとり暮らしや高齢者世帯で、日常生活が自立し、冬期間中、自宅での生活に不安がある人

申込期限

9月4日(火)

施設名	定員
高齢者生活福祉センター	15人
あったかホーム	15人
来田保養センター	3人
保健福祉支援ハウス	2人

※入居費用のうち、部屋代は収入状況により決定します。食事代・光熱水費・管理費などは入居人数により増減することがあります。

※入所の可否は、一戸町地域包括ケア会議にて検討の上、10月下旬までに決定し、通知します。

問健康福祉課 ☎ 32-3700 内線614

地域で取り組む介護予防活動を応援します

町と二戸地区広域行政事務組合では、町内会などが取り組む介護予防活動に対し、経費補助や講師調整などの支援を行います。

事業名

二戸地域保健福祉活動支援事業

支援対象者

介護予防活動に取り組む町内会、自治会など

支援内容

補助対象経費の10分の8以内で上限を3万円とし、予算の範囲内で補助金を助成します。

活動スタッフや講師の調整などを支援します。

支援対象活動

- ・介護予防のための健康生きがいづくり活動
- ・介護予防のための知識や技術などを習得するための講座などの開催
- ・介護予防に関する地域住民の意識の啓発を図るための座談会などの開催
- ・その他、介護予防に資する活動

補助金の対象となる活動期間

申請が認められた日から平成25年3月31日まで

補助金の申込受付期間

9月1日~9月30日
(講師などの調整に係る相談は随時受け付けます。)

その他

申し込みは、所定の要望書などによる手続きが必要となりますので、詳細についてはお問い合わせください。

二戸地区広域行政事務組合

介護保険推進室 ☎ 23-7772
一戸町地域包括支援センター ☎ 32-3700 内線616

平成24年度鶏卵料理講習会と懇談会を開催します

町食生活改善推進協議会では、鶏卵を使った調理講習会と、鶏卵に関する懇談会を行います。お気軽にご参加ください。

日時

9月6日(木) 10:15~14:00

場所

町総合保健福祉センター

対象者

町内在住の人

参加費

1人 100円

持ち物

三角巾、エプロン、筆記用具

申込期限

8月23日(木)までに下記へお申しください。

問健康福祉課 ☎ 32-3700 内線614

「心肺蘇生法講習会」を開催

二戸保健所では、救急医療週間にあわせ、初心者向けに心肺蘇生法講習会を開催します。

昨年までとは内容が若干異なることから、以前に受講された人の再受講も歓迎します。

なお、受講者には「普通救命講習修了証書」を交付します。お気軽にご参加ください。

日時

9月7日(金) 13:00~16:00

※受付は12:30からです。

会場

二戸市勤労者総合福祉センター

内容

- 講話
「備えあれば
～自分の身を守り、大切な人を守る～」
講師：県立二戸病院救急医療科長
酒井敏彰先生
- 実習
AEDを用いた心肺蘇生法講習
指導：二戸地区消防本部救急隊員
※動きやすい服装でご参加ください。

受講料 無料

参加申込

8月24日(金)までに、下記へお申し込みください。

問二戸市健康推進課 ☎ 23-1313

二戸保健所管理課 ☎ 23-9206

自衛官募集を募集します

防衛省では平成25年4月採用の陸上・海上・航空自衛官を募集しています。

日時

種目によりそれぞれ異なります。

募集種目

募集種目	応募資格 (平成25年4月1日現在)	受付期間
航空学生 (海上・航空)	18歳以上 21歳未満	9月7日
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	まで
自衛官候補生	27歳未満	

問自衛隊二戸地方協力本部

二戸地域事務所 ☎



まちの お知らせ ひろば2

問=問合せ、申込み先

お知らせ / Information

まちの健康相談室からお知らせ

8月17日(金)	栄養	10:00~17:00 (骨年齢測定は午前のみ)
19日(火)	心悩み	13:00~17:00
20日(水)	介護	10:00~17:00
21日(木)	心悩み	10:00~17:00
22日(金)	傾聴ボランティア	10:00~12:00 おはなしランド 13:00~15:00
22日(木)	心配事	10:00~17:00
29日(金)	傾聴ボランティア	10:00~12:00

問 まちの健康相談室 ☎ 33-4535

広報クイズ

～一戸町共通商品券～
(1,000円分)
3人にプレゼント！

先月号の当選者は、岩間巧さん（一戸小井田）、高沢雪子さん（平塙田岡）、白谷諒さん（樅山保坂）。おめでとうございます。

◎広報クイズです。

▼問題
大志田ダムの愛称は何でしょう？
→「菜○湖」

ハガキに、クイズの答え、住所、氏名、年齢（学校名・学年）、電話番号を記入し、応募してください。

〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
広報クイズ係までお送りください。
(8月27日締切り)

※余白に町政への提言や広報の感想などを自由にお書きください。

★保育施設開放★

鳥海保育所 ☎ 32-2220
小鳥谷保育所 ☎ 34-2524
奥中山保育所 ☎ 35-2319
9月11日(火) 9:30~11:00

◎子育てサークルのびのび
(☎ 32-3770) は、
平日の月・水・金 9:30~14:30
※場所は、旧保健センター

i ショップホームページ <http://waza.town.ichinohe.iwate.jp/>

※携帯電話で左のバーコードを読み取るか、上記のURLからご覧ください

「放射性物質に関するセミナー」 を開催します

県では、食品関係事業者を対象としたセミナーを開催します。詳しくは、下記へ問い合わせください。

■日時 9月19日(水) 13:30~15:30

■場所 盛岡市アイスアリーナ第1・2会議室

■内容

○「放射性物質検査等の県の取組について」

○基調講演「食品の放射性物質汚染について」

岩手大学農学部准教授 佐藤至氏

問 岩手県環境整備部 ☎ 019-629-5322

ホームページ

<http://www.ebgw.pref.iwate.jp/ecp/index.html>

愛犬のしつけ教室を開催します

愛犬のしつけ教室を下記の日に開催します。参加希望者は、下記までご連絡ください。

■日時 9月16日(日) 10:30~

■参加費 1,000円

■場所 馬渕川公園駐車場（二戸市）

問わんこの会 ☎ 23-8257

（グリーン動物病院内）

未返還の保管証券類をお返しします

税関では、戦後に海外から引き揚げて来られた人々からお預かりした、約87万件の未返還な保管証券類をお返ししています。

返還の請求はご家族でも行えます。お気軽にお問い合わせ下さい。

○終戦後、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券。

○帰国前に樺太、満州にあった在外公館、日本人自治区に預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの。

問 国税監視部統括監視官部門

☎ 013-840-4244

風呂の日に宮田温泉をご利用ください

宮田温泉では、毎月26日を風呂の日とし、大人の入浴料がお得になります。ぜひご利用ください。

■日時 每月26日（定休日を除く）

■料金 大人 400→300円

問 宮田温泉保養所 ☎ 33-1955

◎ 一戸町における放射線量の測定結果について

（単位：マイクロシーベルト／時）

測定日	測定地点 (小学校)	測定箇所	測定値			測定地点 (中学校)	測定箇所	測定値		
			5cm	0.5m	1.0m			5cm	0.5m	1.0m
7月27日	一戸	校庭	0.028	0.023	0.020	一戸	校庭	0.018	0.018	0.018
		雨どい	0.108	0.051	0.045		雨どい	0.045	0.054	0.044
	鳥越	校庭	0.030	0.021	0.028	小鳥谷	校庭	0.042	0.037	0.033
		雨どい	0.055	0.034	0.036		雨どい	0.073	0.058	0.038
	一戸南	校庭	0.053	0.051	0.051	奥中山	校庭	0.025	0.027	0.022
		雨どい	0.035	0.041	0.027		雨どい	0.061	0.047	0.042
	鳥海	校庭	0.019	0.016	0.009		校庭	0.019	0.016	0.009
		雨どい	0.033	0.039	0.033		園庭	0.033	0.038	0.036
7月18日	小鳥谷	校庭	0.033	0.038	0.036	一戸	測定箇所	5cm	0.5m	1.0m
		雨どい	0.081	0.054	0.040		園庭	0.038	0.034	0.038
	奥中山	校庭	0.019	0.023	0.023		雨どい	0.064	0.042	0.049
		雨どい	0.091	0.074	0.050		一戸	0.034	0.030	—
		雨どい	—	0.031	—		雨屋上	—	0.031	—
7月19日	町立鳥海保育所	園庭	0.039	0.043	0.046 (砂場フェンス側溝)	町立小鳥谷保育所	園庭	0.028	0.036	0.052 (玄関脇雨どい)
		雨屋上	—	—	—		園庭	0.035	0.039	0.041 (玄関脇雨どい)
	町立奥中山保育所	園庭	—	—	—		園庭	—	—	—
		雨屋上	—	—	—		園庭	—	—	—

問 学校教育課、水環境課 ☎ 33-2111 内線 501、226
一戸町食育センター ☎ 33-2219

相続に関する無料相談のお知らせ

岩手県司法書士会では、相続に関する無料相談を行います。期間中は、各会員事務所と、フリーダイヤルによる相談窓口を設けます。お気軽にご相談ください。

■期間 ~8月31日(金)
※土・日曜日を除く

■相談窓口
常設…田頭正三郎事務所（一戸本町）
姉帶鉄五郎事務所（一戸町前）

電話…☎ 0120-823-815
10:00~13:00

※13日(月)~16日(木)を除く

問 岩手県司法書士会事務局
☎ 019-622-3372

岩手県県民の森からのお知らせ

岩手県県民の森では、下記の通りイベントを開催します。お申し込みや詳細については、下記までお問い合わせください。

行事名	開催日時	内容	備考
木工教室「踏み台」	9月9日(日) 9:30~15:30	糸ノコで切った後、組み立てる。	参加費…2,000円 定員…先着10人
大地獄谷観察会	9月15日(土) 7:45~16:00	七滝上流をたどり、大地獄谷を観察する。	参加費…1,000円 定員…先着10人 対象…6時間登山できる人
きのこ鑑定会	9月29日(土) 8:45~12:00	採取したキノコを鑑定し合う。	参加費…1,000円 定員…先着20人

■場所 岩手県県民の森
問 県民の森管理事務所 ☎ 0195-78-2092
ホームページ <http://kenminnomori.com>

平成24年度ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン接種の実施について

町では、町内に住所を有する生後2ヶ月以上5歳未満の人で、かつ、予防接種を希望する人にヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施しています。

■実施時期 平成25年3月31日まで

■実施場所 県立一戸病院 小児科外来

■接種内容

▼ヒブワクチン(初回接種)

- ① 2ヶ月～7ヶ月未満の場合
→4～8週間の間隔で3回接種
→追加接種おおむね3回目以降1年後1回
- ② 7ヶ月～12ヶ月未満の場合
→4～8週間の間隔で2回接種
→追加接種おおむね2回目以降1年後1回
- ③ 12ヶ月～5歳未満の場合
→1回接種

▼小児用肺炎球菌ワクチン(初回接種)